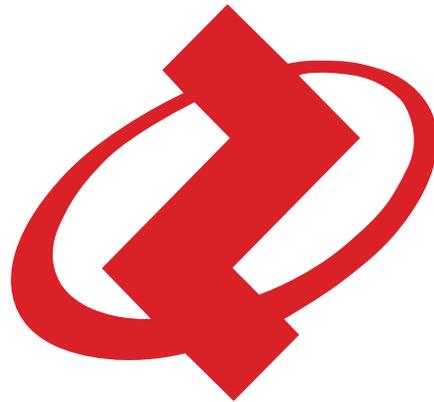


ゼリア新薬工業株式会社

第**49**期
事業報告書

平成14年4月1日～平成15年3月31日

証券コード：4559



ゼリア新薬

Z E R I A



株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第49期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊藤 幸 顕

C O N T E N T S

トップインタビュー	p.1
研究開発	p.4
トピックス	p.4
株主様優待のご案内.....	p.5
財務諸表(連結)	p.6
財務諸表(単体)	p.8
連結財務ハイライト	p.10
会社情報	p.11
株式情報	p.12
株主メモ	p.13

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



トップインタビュー

Q

当期の業績についてお聞かせください。

A 当期の業績は、連結売上高が550億55百万円（前期比2.3%増）となりました。利益面につきましては、連結経常利益が30億4百万円（前期比23.4%減）、当期純利益が20億39百万円（前期比40.7%増）となりました。なお、当期配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。

Q

事業部門別状況について部門別にご説明ください。
医療用医薬品部門はいかがですか。

A 医療用医薬品部門では、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質向上と、学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。また、営業力強化策としてコントラクトMR（契約MR）を採用し、重点品目のさらなる市場構築に努めましたが、苦戦を余儀なくされました。

最重点領域である消化器官用薬について、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック顆粒15%」は、製品特性を生かしたプロモーション活動により売上高を維持いたしました。また、急性心不全治療剤「ハンブ注射用1000」、高血圧・狭心症治療剤「ランデル錠」は伸長いたしました。しかしながら、市場環境の変化と市場競争の激化により、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル」、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒」、白血球減少抑制剤「アンサー20注」、非ステロイド性鎮痛・消炎剤「ベオン錠80」、吸収性局所止血材「アビテン」は減少いたしました。

この結果、当部門の売上高は364億54百万円（前期比7.0%減）となりました。

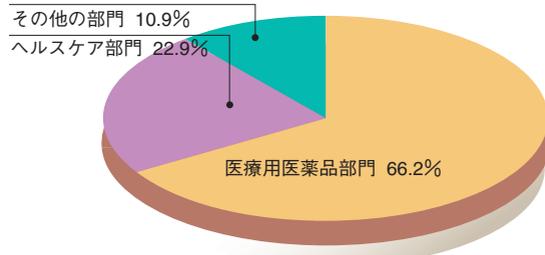
なお、「ハンブ注射用1000」については、当社が保有する日本国内における独占的販売権の再実施権を第一製薬株式会社に許諾することになりました。平成15年4月1日より、第一サントリーファーマ株式会社が生産する「ハンブ注射用1000」の全量を当社が仕入れ、第一製薬株式会社に供給し、第一製薬株式会社が販売します。当社は「ハンブ注射用1000」の共同販促を行うことになりました。

Q

ヘルスケア部門はいかがですか。

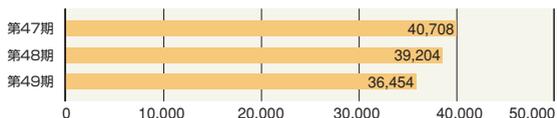
A ヘルスケア部門は、ゼリアフランチャイズストア連盟、薬系量販店、コンビニエンスストアなどの一般小売店を「三本柱」とする販路別展開を基本とし、高齢社会の進展を背景とした医療用医薬品の薬剤費抑制策の強化に対応すべく、引き続きセルフプリベンション（予防）を指向した製品群を重点品目と位置づけ、市場構築に努めてまいりました。ゼリアフランチャイズストア連盟加盟の薬局薬店において

■ 部門別売上高構成 (%)



■ 部門別売上高推移 (単位:百万円)

◎ 医療用医薬品部門



◎ ヘルスケア部門



◎ その他の部門



は、加盟店とのさらなる強固な関係を構築するため、ZP会（ゼリアパール会）を設立し、会員向けに製品の開発・販売を行うなど、積極的な支援活動を通して、質の改善に重点を置いた営業展開を進めてまいりました。薬系量販店においては、大手ドラッグストアの連携とグループ化に対応しつつ、PB（プライベートブランド）品の提供を行うとともに、胃腸薬群にも積極的な営業展開を進めてまいりました。

また、医薬部外品ドリンク「ローヤルゼリー配合ももの味」については、認知度のアップを目指した積極的な広告展開を進め、コンビニエンスストア・スーパーマーケット等への販路拡大・市場開拓に取り組んでまいりました。平成14年11月には同品のラインアップ強化を目的に、姉妹品「ローヤルゼリー配合りんご味」を発売いたしました。その結果、当部門の売上高は126億17百万円（前期比17.2%増）となりました。なおその他の部門の売上高は、59億83百万円（前期比54.8%増）となりました。



◎主要医療用医薬品等

種別	製品名
消化器官用薬	アシノンカプセル(150、75)
	プロマック顆粒15%
	マーズレン-S顆粒
中枢神経系用薬	ベオン錠80
循環器官用薬	ランデル錠(10、20、40)
血液及び体液用薬	アンサー20注
医療用具	アピテン・シリンジアピテン



◎主要一般用医薬品等

種別	製品名
滋養強壮剤	ローヤルゼリー散
	ハイゼリー散
	マリオンカルシウム
代謝性用薬	ハイゼリーB
	新ローヤルゼレントB
	ゼリアス(V5、V10)
	新ハイゼリーエースII
	新ヘパリーゼプラス
	コンドロイチンZS錠
中枢神経系用薬	セビーゴールド(カプセル、顆粒)
胃腸薬	ウィズワン・ウィズワンα
医薬部外品	ローヤルゼリー配合ももの味(販売名:ヘルサンB)
	ローヤルゼリー配合りんご味(販売名:ヘルサンBA)
栄養食品	新健康習慣シリーズ



研究開発についてお聞かせください。

A 研究開発においては、国際的に通用する自社オリジナル新薬の創製を念頭に、ICH（薬事規制のハーモナイゼーションに関する国際会議）の動向を受けた海外臨床展開を積極的に展開しております。

当社期待のオリジナル新薬である「Z-338」は、欧州での機能的胃腸症を適応としたフェーズIIaが終了し、さらに作用メカニズム等に関する臨床試験を開始いたしました。

た。また、昨年5月に米国およびカナダでの開発・販売権について、山之内製薬株式会社と実施許諾の基本契約を締結いたしました。

また、中央研究所にて創製された新しい作用機序の消化性潰瘍治療剤「Z-360」は、英国でのフェーズⅠを終了いたしました。自社創薬品の閉塞性動脈硬化症治療剤「Z-335」は、国内フェーズⅡを終了し、「アンサー注」の子宮頸癌に対する効能追加のためのフェーズⅢが終了し、最終段階の検討に入っております。

「ペオン錠」については、急性上気道炎効能追加の製造承認を申請しております。また、米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「Z-205」は、国内フェーズⅠを終了し、フェーズⅡの準備を進めております。一般用医薬品では、新製品、PB品を順次上市いたしました。

Q 医療環境の変革の動きについて、どのようにお考えですか。

A 医療制度の抜本的な改革への道筋が議論されるなか、平成14年4月の薬価改正に加えて、同年7月に健康保険法の改正を含む医療制度関連法案が成立するなど、わが国の医療制度を巡る環境は継続的に変革しつつあります。一方、平成14年8月には厚生労働省が策定を進めてきた「医薬品産業ビジョン」が公表されるなど、将来に向けての製造産業のあり方を巡る議論も活発化してきております。医薬品の承認制度では、平成14年7月公布の改正薬事法によって抜本的な改革が行われました。この改正により、製造販売承認制度が導入されたことで、企業間の機能分化と提携構築などが一層進展するものと考えております。

Q 第5次中期経営計画の進捗状況をお聞かせ下さい。

A 当社では、「企業価値向上」を追求し、「質を求める経営の徹底」をさらに推進する第5次中期経営計画（平成13年度から平成17年度まで）を進めております。平成14年度を終了した時点で、本計画の目標とする経営指標の見直しを行いました。これは、計画作成当初に比べて薬剤費・医療費抑制策が多岐にわたり浸透したことや、経営環境の諸要因の変化を踏まえたものであります。本計画においては、ゲノム創薬による新薬創製を含めた新

薬パイプラインの強化、ヘルスケア事業におけるナショナルブランド品の育成、医療用医薬品事業、ヘルスケア事業に次ぐ新規事業の構築を重点課題として掲げ、引き続き取り組んでまいります。

ゲノム創薬時代に対応すべく設立した100%出資のバイオベンチャー「株式会社ジーエスプラッツ」では、国内外の大学、企業等との共同探索研究を進めております。現在9テーマを共同プロジェクトとして研究中です。

これらのプロジェクトの研究を初期段階から中央研究所と連携させることによって、国際社会に貢献する新薬創出を目指してまいります。

Q 次期の取り組みについてお聞かせください。

A 医療用医薬品事業では、市場構築のための戦略的強化策の一環として医薬情報活動を強化すべく、当社MRIに加えコントラクトMRの活用を進めてまいります。

ヘルスケア事業では、超高齢社会の到来とセルフメディケーションの進展、さらに急激に変化する小売・流通業界に対応してまいります。ゼリアフランチャイズストア連盟におけるZP会の強化育成を推進するとともに、薬系量販店、コンビニエンスストア等との取引を強化し、「三本柱」による販路別展開により、ナショナルブランド品の育成を進めてまいります。

Q コーポレート・ガバナンスの取り組みについてお聞かせください。

A 当社では、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題と認識し、その向上と改善に取り組んでおります。「ゼリアグループ・コンプライアンス・スタンダード」を制定し法令・諸規則を遵守した企業活動を行っております。また、社外取締役、社外監査役の機能強化にも取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて9品目であります。

研究開発の状況

領域	消化器系	その他
1) 国内開発状況		
申請中	・ Z-103 (プロマック顆粒) 胃炎	・ ZC-102 (ペオン錠) 急性上気道炎
フェーズⅢ		・ Z-100 (アンサー注) 子宮頸癌
フェーズⅡ	・ Z-338 機能性胃腸症 ・ Z-205 大腸内視鏡前腸管洗浄剤	・ Z-335 閉塞性動脈硬化症
フェーズⅠ		・ Z-321 脳血管障害
2) 海外開発状況		
フェーズⅡ	・ Z-338 機能性胃腸症	
フェーズⅠ	・ Z-360 消化性潰瘍	

トピックス

「ローヤルゼリー配合ももの味 ノンシュガー」を新発売

好評発売中の「ローヤルゼリー配合ももの味」「とりんご味」シリーズにニューフェイスの「ローヤルゼリー配合ももの味 ノンシュガー」(販売名: ヘルサンBライト、医薬部外品)を6月から新発売しました。ノンシュガーなので1本わずか2Kcalとカロリーの気になる方にも飲んでいただけるドリンク剤です。主成分としてローヤルゼリー350mgのほか、ビタミンB₂、ニコチン酸アミド、塩化カルニチン、ヨクイニン乾燥エキスなどを配合。サラッとした飲みやすいフルーティーなピーチ味があなたのお疲れモードをリフレッシュします。



PostPet™ © Sony Communication Network Corporation

株主様優待のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。私たちの業務に対する皆様のご理解をいただきますよう、当社の製品をお試しいただくことにいたしました。今期末から2つのコースを設け、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしく願い申し上げます。

実施の方法

毎年9月30日現在及び3月31日現在における所有株式数1,000株(1単元)以上の株主の皆様に対し、年間2回、下記のAまたはBコースのいずれかを贈呈いたします。

A コース

からだの脂肪を考える、新概念食品

2週間セット
『新健康習慣』1箱

新健康習慣は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220キロカロリーという低エネルギーの食生活サポート食品です。

「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方にオススメです。



B コース

ローヤルゼリー配合

『ももの味』『りんご味』
『新健康習慣げんとう四健茶』セット

ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合して大好評の「ももの味」「りんご味」を各10本。さらに緑茶に桑、ヤーコン、バナバをブレンドした健康茶、「新健康習慣げんとう四健茶」3箱をセットにしました。

(ローヤルゼリー配合ももの味50mL×10本入1箱)
(ローヤルゼリー配合りんご味50mL×10本入1箱)
新健康習慣 げんとう四健茶14袋入×3箱)



財務諸表(連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度	科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在			平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在
[資産の部]				[負債の部]			
流動資産		29,499	34,288	流動負債		16,314	20,599
現金及び預金		3,099	1,894	支払手形及び買掛金		7,951	8,143
受取手形及び売掛金		19,103	23,621	短期借入金		1,554	6,966
有価証券		614	1,059	未払法人税等		2,025	395
たな卸資産		4,777	5,746	賞与引当金		1,159	1,032
繰延税金資産		1,006	558	返品調整引当金		417	572
その他		1,029	1,526	売上割戻引当金		485	403
貸倒引当金		△130	△118	その他		2,720	3,085
固定資産		20,810	20,740	固定負債		4,287	4,699
有形固定資産		15,812	15,769	長期借入金		1,351	1,505
建物及び構築物		5,414	5,601	退職給付引当金		2,634	2,915
機械装置及び運搬具		764	703	役員退職慰労引当金		199	179
土地		9,338	9,184	その他		101	99
その他		294	280	負債合計		20,602	25,298
無形固定資産		166	201				
投資その他の資産		4,830	4,769	[少数株主持分]			
投資有価証券		1,477	1,583	少数株主持分		—	—
繰延税金資産		1,882	1,759	[資本の部]			
その他		1,665	1,553	資本金		6,593	6,593
貸倒引当金		△193	△126	資本剰余金		5,397	5,397
資産合計		50,310	55,029	利益剰余金		19,226	17,954
				その他有価証券評価差額金		△133	△97
				自己株式		△1,375	△116
				資本合計		29,708	29,730
				負債、少数株主持分及び資本合計		50,310	55,029

(注) 連結財務諸表規則の改正により、当期における連結貸借対照表の資本の部については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。これにより、前期についても改正後の表示区分に組替えております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
売上高		55,055	53,837
売上原価		26,231	25,508
返品調整引当金戻入額		△154	△162
売上総利益		28,978	28,492
販売費及び一般管理費		25,801	24,347
営業利益		3,177	4,144
営業外収益		394	186
受取利息		1	3
受取配当金		33	15
有価証券売却益		—	15
受取手数料		1	86
出資金運用益		160	23
為替差益		156	—
その他		41	43
営業外費用		566	406
支払利息		95	126
有価証券評価損		444	193
為替差損		—	58
その他		26	26
経常利益		3,004	3,924
特別利益		1,561	114
販売権行使許諾金		1,500	—
退職給付信託設定益		61	114
特別損失		352	1,041
固定資産売却損		8	1
固定資産除却損		10	28
固定資産評価損		166	951
貸倒引当金繰入額		31	20
その他		134	39
税金等調整前当期純利益		4,214	2,997
法人税、住民税及び事業税		2,725	1,375
法人税等調整額		△550	172
当期純利益		2,039	1,449

連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高		5,397	5,397
資本準備金期首残高		5,397	5,397
資本剰余金期末残高		5,397	5,397
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高		17,954	17,316
利益剰余金増加高		2,039	1,449
当期純利益		2,039	1,449
利益剰余金減少高		767	811
配当金		767	772
役員賞与		—	39
利益剰余金期末残高		19,226	17,954

(注) 連結財務諸表規則の改正により、当期における連結剰余金計算書については、改正後の連結財務諸表規則により作成しております。これにより、前期についても改正後の表示区分に組替えております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当連結会計年度	前連結会計年度
		平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,691	7,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		△842	△1,575
財務活動によるキャッシュ・フロー		△7,598	△5,924
現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—
現金及び現金同等物の増減額		1,250	△256
現金及び現金同等物の期首残高		1,677	1,933
現金及び現金同等物の期末残高		2,928	1,677

財務諸表(単体)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当期	前期
		平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在
[資産の部]			
流動資産		28,948	33,835
現金及び預金		1,610	1,663
受取手形		1,422	1,942
売掛金		18,931	21,670
有価証券		614	1,059
製品及び商品		1,923	2,739
半製品及び仕掛品		562	1,224
原材料及び貯蔵品		1,275	1,180
未着品		980	563
前渡金		345	381
前払費用		97	132
繰延税金資産		959	527
デリバティブ		154	668
その他の流動資産		195	185
貸倒引当金		△124	△103
固定資産		19,294	19,241
有形固定資産		14,097	14,073
建物		4,592	4,779
構築物		257	277
機械装置		758	695
車両運搬具		6	8
工具器具備品		264	278
土地		8,188	8,034
建設仮勘定		29	—
無形固定資産		165	200
特許実施権		47	59
ソフトウェア		94	117
その他の無形固定資産		23	24
投資等		5,031	4,967
投資有価証券		1,239	1,341
出資金		663	536
繰延税金資産		1,811	1,689
敷金及び保証金		539	641
その他の投資		971	884
貸倒引当金		△193	△126
資産合計		48,242	53,077

科目	期別	当期	前期
		平成15年 3月31日現在	平成14年 3月31日現在
[負債の部]			
流動負債		15,875	20,231
支払手形		4,366	4,685
買掛金		3,560	3,430
短期借入金		1,400	6,750
1年以内返済予定の長期借入金		21	84
未払金		1,801	1,761
未払費用		299	273
未払法人税等		1,867	321
未払消費税等		290	141
預り金		49	103
賞与引当金		1,143	1,018
返品調整引当金		417	572
売上割戻引当金		485	403
繰延ヘッジ利益		154	668
その他の流動負債		16	16
固定負債		2,866	3,149
長期借入金		38	59
退職給付引当金		2,634	2,915
役員退職慰労引当金		193	174
その他の固定負債		0	0
負債合計		18,741	23,380
[資本の部]			
資本金		6,593	6,593
資本剰余金		5,397	5,397
資本準備金		5,397	5,397
利益剰余金		19,019	17,920
利益準備金		1,648	1,648
任意積立金		13,959	13,459
別途積立金		13,959	13,459
当期末処分利益 (うち当期利益)		3,411 (1,865)	2,813 (1,358)
株式等評価差額金		△133	△98
自己株式		△1,375	△116
資本合計		29,500	29,696
負債及び資本合計		48,242	53,077

(注) 商法施行規則の施行により、当期における資本の部について施行後の項目に区分して表示しております。なお、前期につきましても、施行後の表示区分に組替えております。

損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当 期	前 期
		平成14年 4月 1 日から 平成15年 3月31日まで	平成13年 4月 1 日から 平成14年 3月31日まで
【経常損益の部】			
営業損益の部			
営業収益		53,936	53,052
売上高		53,936	53,052
営業費用		51,331	49,174
売上原価		25,880	25,156
返品調整引当金戻入額		△154	△162
販売費及び一般管理費		25,605	24,180
営業利益		2,604	3,878
営業外損益の部			
営業外収益		483	233
受取利息及び配当金		112	54
有価証券売却益		—	15
出資金運用益		160	23
為替差益		156	—
その他の営業外収益		53	140
営業外費用		538	373
支払利息		67	95
有価証券評価損		444	193
為替差損		—	58
その他の営業外費用		26	25
経常利益		2,550	3,738
【特別損益の部】			
特別利益		1,561	114
販売権行使許諾金		1,500	—
退職給付信託設定益		61	114
特別損失		252	1,040
固定資産売却損		8	1
固定資産除却損		10	28
固定資産評価損		166	950
貸倒引当金繰入額		31	20
その他の特別損失		35	39
税引前当期利益		3,859	2,811
法人税、住民税及び事業税		2,527	1,294
法人税等調整額		△533	158
当期利益		1,865	1,358
前期繰越利益		1,927	1,840
中間配当額		381	386
当期末処分利益		3,411	2,813

利益処分

(単位:円)

科 目	期 別	当 期	前 期
当期末処分利益		3,411,875,265	2,813,282,019
これを次のとおり処分いたします。			
利益配当金		375,271,448 (1株につき8円)	385,437,816 (1株につき8円)
任意積立金			
別途積立金		2,000,000,000	500,000,000
次期繰越利益		1,036,603,817	1,927,844,203

- (注) 1. 平成13年12月10日に386,312,144円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
2. 平成14年12月10日に381,872,472円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。
3. 利益配当金は自己株式(当期1,381,242株、前期110,446株)を除いて計算しております。

連結財務ハイライト

項目	第45期 H11/3	第46期 H12/3	第47期 H13/3	第48期 H14/3	第49期 H15/3
売上高 (百万円)	54,873	56,183	55,766	53,837	55,055
経常利益 (百万円)	5,832	6,124	6,405	3,924	3,004
当期純利益 (百万円)	2,714	3,111	1,365	1,449	2,039
総資産 (百万円)	54,680	56,566	62,650	55,029	50,310
株主資本 (百万円)	25,917	28,811	29,306	29,730	29,708
株主資本利益率 (ROE) (%)	10.9	11.4	4.7	4.9	6.9
売上高経常利益率 (%)	10.6	10.9	11.5	7.3	5.5
売上高当期純利益率 (%)	4.9	5.5	2.4	2.7	3.7
総資本経常利益率 (%)	11.0	11.0	10.7	6.7	5.7
株主資本比率 (%)	47.4	50.9	46.8	54.0	59.1
1株当たり当期純利益 (円)	56.78 (56.03)	64.27 (63.43)	28.28 (27.47)	30.03 (30.03)	42.82
1株当たり株主資本 (円)	535.24 (534.50)	596.65 (595.81)	606.90 (606.08)	617.07 (617.07)	633.32

(注) 第49期から「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。なお第48期までの1株当たり当期純利益及び1株当たり株主資本について同会計基準を適用して算出した場合を()内に記載しております。

連結子会社 2社

ゼリアヘルスウエイ株式会社

売上高 45億95百万円
 資本金 12百万円 (議決権比率100%)
 事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

売上高 6億3百万円
 資本金 1億80百万円 (議決権比率100%)
 事業内容 保険代理業・不動産業等

会社情報

(平成15年3月31日現在)

■ 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,281名
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療用具の製造、 販売及び輸出入

■ 役員

(平成15年6月27日現在)

代表取締役社長	伊 部 幸 顕
専務取締役	林 田 雅 博
常務取締役	佐々木 耕 治
取 締 役	大 野 晃
取 締 役	福 山 厚
取 締 役	株 橋 春 樹
取 締 役	長 江 晴 男
取 締 役	猪 口 博 明
取 締 役	吉 田 泰 久
取 締 役	菅 幹 雄
取 締 役	鳥 野 浩 市
常勤監査役	浜 野 峻 至
常勤監査役	田 中 辰 幸
監 査 役	小笠原 日出男
監 査 役	中 由 規子

■ 事業所

- 本 社 東京都中央区
- 札幌支店 札幌市
- 仙台支店 仙台市
- 東京支店 東京都中央区
- 神奈川営業所 横浜市
- 埼玉営業所 さいたま市
- 千葉営業所 千葉市
- 北関東営業所 水戸市
- 関越営業所 新潟市
- 甲信営業所 松本市
- 名古屋支店 名古屋市
- 静岡営業所 静岡市
- 大阪支店 吹田市
- 大阪第二営業所 堺市
- 神戸営業所 神戸市
- 京都営業所 京都市
- 金沢営業所 金沢市
- 中四国支店 広島市
- 岡山営業所 岡山市
- 高松営業所 高松市
- 福岡支店 福岡市
- 中央研究所 埼玉県大里郡
- 埼玉工場 埼玉県大里郡
- 筑波工場 牛久市
- 東京物流センター 川口市
- 札幌物流センター 札幌市
- 埼玉物流センター 埼玉県大里郡
- 大阪物流センター 大東市
- 出張所
青森・郡山・宇都宮・高崎・富山・津・米子・山口・松山・高知・
徳島・大分・熊本・長崎・鹿児島・沖縄

株式情報 (平成15年3月31日現在)

株式の状況

- ① 会社が発行する株式の総数 **119,860,000株**
- ② 発行済株式の総数 **48,290,173株**
- ③ 株主数 **3,788名**

大株主

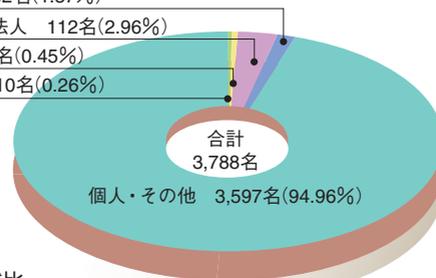
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)	持株数(株)	議決権比率(%)
有限会社伊部	5,510,770	11.9	—	—
ロサラード株式会社	3,571,079	7.7	—	—
株式会社UFJ銀行	2,304,045	5.0	—	—
ゼリア新薬工業従業員持株会	2,110,417	4.6	—	—
森永乳業株式会社	1,854,741	4.0	1,596	0.0
第一サントリーファーマ株式会社	1,600,000	3.5	—	—
伊部 幸頭	1,393,425	3.0	—	—
株式会社三井住友銀行	1,278,301	2.8	—	—
中央三井信託銀行株式会社	1,207,907	2.6	—	—
株式会社りそな銀行	1,074,896	2.3	—	—

(注) 上記の他に、当社が自己株式として1,381,242株所有しております。

所有者別株式分布状況

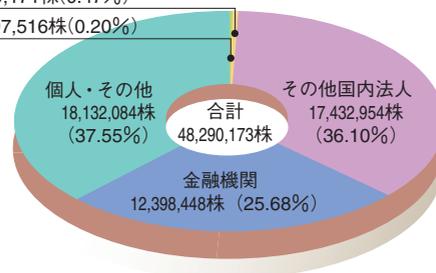
◎ 株主数構成比

- 金融機関 52名(1.37%)
- その他国内法人 112名(2.96%)
- 外国人 17名(0.45%)
- 証券会社 10名(0.26%)

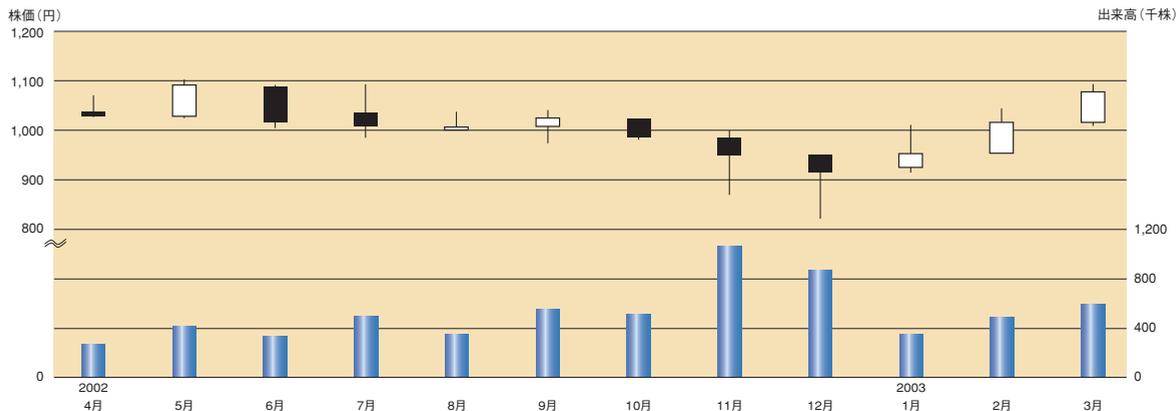


◎ 株式数構成比

- 外国人 229,171株(0.47%)
- 証券会社 97,516株(0.20%)



株価および出来高の推移



株主メモ

- 決算期 3月31日
- 利益配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、当社ホームページ
<http://www.zeria.co.jp/kessan/index.html>
において提供します。
- 名義書換代理人 〒105-8574
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
03-3323-7111 (代)
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
- 証 券 コ ー ド 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

☎0120-87-2031

https://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06/p_06_11.html
で24時間受付しております。

最新のIR情報は
当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080

<http://www.zeria.co.jp/>